

第62回男子・第35回女子 全日本学生ホッケー選手権大会

開催日時 10月21日(月) 会場 飯能市阿須運動公園ホッケー場・駿河台大学ホッケー場

【全試合結果】

天候 晴

<飯能市阿須運動公園ホッケー場>

第1試合 10:00	女子 準々決勝	駿河台大学	0	{	0 - 0 0 - 3	}	3	立命館大学
第2試合 11:40	女子 準々決勝	山梨学院大学	9	{	3 - 0 6 - 0	}	0	関西学院大学
第3試合 13:20	男子 準々決勝	立命館大学	3	{	1 - 2 2 - 0	}	2	慶應義塾大学
第4試合 15:00	男子 準々決勝	朝日大学	2	{	0 - 1 2 - 1	}	2	明治大学

<駿河台大学ホッケー場>

第1試合 10:00	女子 準々決勝	東海学院大学	0	{	0 - 0 0 - 1	}	1	聖泉大学
第2試合 11:40	女子 準々決勝	中京大学	0	{	0 - 2 0 - 2	}	4	天理大学
第3試合 13:20	男子 準々決勝	関西大学	1	{	0 - 2 1 - 3	}	5	駿河台大学
第4試合 15:00	男子 準々決勝	天理大学	4	{	1 - 0 3 - 1	}	1	山梨学院大学

【各試合の結果・詳細】

阿須・第1試合 女子 準々決勝

駿河台大学	0	{	0	-	0	}	3	立命館大学
			0		3			
			延長戦					
			{	-	}			
				-				
				SO				
				-				

<得点>

駿河台

立命館

39分・山内理恵子、45分・山内理恵子、66分・山下雛

<戦評>

昨日の雨も上がり晴天の中、女子準々決勝駿河台対駿河台の試合が行われた。立命館大学のセンターパスから試合が始まると駿河台が18番尾関を中心とした安定したパスをつなぎ立命館のサークル付近まで一気に攻め上がりPCを獲得した。ここはGKのファインセーブにより得点には至らなかった。すると立命館がカウンターから攻めにつなげ、駿河台ゴールを鋭い打ち込みで幾度となく脅かす。しかし粘り強い駿河台ディフェンスにより阻まれる。拮抗した試合展開となるが、立命館が中盤からPCを立て続けに3回獲得し、立命館がやや優勢のまま前半は両者無得点のまま終了した。後半は立命館が序盤からペースをつかみ10番山内の左側からのセンタリングからサークル内に切り込みそのままゴールに押し込み後半4分初得点をあげる。その後立命館はPCを獲得するがGKとディフェンスの連携により追加点を回避する。しかし10分10番が再び右サイドから切り込むとリバースヒットが決まり得点を重ねる。対する駿河台もパスカットやカウンターから立命館ゴールを狙うが決めきることが出来ない。そして試合終了間際の後半31分立命館がPCを獲得し、12番山下がゴール右下に鋭いヒットを放ち3点目を決めた。結果、3-0で立命館が勝利し、準決勝に進むことが決定した。

TO	草野妥彦	アンパイア	高橋英行
ジャッジ	寺田一夫		西間庭浩
ジャッジ	金原祐衣	リザーブアンパイア	野澤達

阿須・第2試合 女子 準々決勝

山梨学院大学	9	{	3	-	0	}	0	関西学院大学
			6		0			
			延長戦					
			{	-	}			
				-				
				SO				
				-				

<得点>

山梨学院

関西学院

9分・浦島千春、16分・五島梨奈、22分・田中泉樹、42分・藤井美沙、44分・山田明季、54分・田中泉樹、61分・佐藤圭、67分
得点者なし

<戦評>

山梨学院のセンターパスで始まった女子準々決勝。試合開始から山梨学院が試合の主導権を握り、攻め立てる。前半9分、サークル内の込み合ったところから山梨学院#9浦島が押し込み先制点を挙げると、同16分にはサークルトップから#10五島が強烈なヒットシュートを左下に決める。同22分には#1田中のフリックシュートがゴールネットを揺らし、山梨学院が3-0とリードし、前半を折り返す。ボールポゼッションの高い山梨学院に対し、関西学院は#12GK馬場を中心にDF陣が奮闘し、簡単にPCやシュートを許さない。しかし、後半7分に山梨学院#20藤井がGKのリバウンドを押し込み4点目を挙げると、同9分には#7山田が押し込み中押し点を挙げ、完全に試合のペースを握る。関西学院は中盤でのパスカットから#15佐々木 3和田を中心に攻め上がるも、シュートチャンスまで持ち込めない。その後も、華麗なパスホッケーを展開する山梨学院は、#1田中 #12佐藤 #10五島が追加点を挙げ、9-0で山梨学院大学が勝利し準決勝に駒を進めた。

TO	関根由美子	アンパイア	松村満
ジャッジ	北島学		穴井孟司
ジャッジ	吉田彩香	リザーブアンパイア	成田健一

阿須・第3試合 男子 準々決勝

立命館大学	3	{ 1 - 2 } 2	2	慶應義塾大学
		延長戦		
		{ - } SO		
		-		

<得点>

立命館 2分・森洋平、36分・大橋雅貴、46分・大橋雅貴
 慶應義塾 19分・下山雄大、30分・下山雄大

<戦評>

暖かな陽気で心地よい風が吹く阿須で第三試合目の立命館大学対慶應義塾大学の試合が立命館大学のセンターパスにより開始された。試合は早くから動く。前半2分立命館は左サイドからのボールを#11森が強烈なシュートを決め幸先よく先制した。対する慶應義塾も前半19分#15下山のタッチシュートで同点に追いつく。勝ち越したい立命館は幾度もチャンスを迎えるが慶應義塾#2草薙の好セーブが光り、得点には至らない。しかし、前半30分またも慶應#15下山が右サイドからの地を這うようなヒットに合わせて慶應義塾が逆転に成功する。そして前半は1-2の慶應義塾リードで試合を折り返す。後半1分立命館#9大橋が決めて立命館が試合を振り出しに戻す。後半11分立命館#9大橋がPCからキーパーの手をかすめるヒットシュートを沈め今度は立命館が逆転に成功する。その後も両者が一進一退の攻防を繰り広げるがゴールを割れず。結局3-2で立命館大学がリードを守りきり勝利を収め準決勝に駒を進めた。

TO	草野妥彦	アンパイア	LOI JIA JIN
ジャッジ	鈴木靖弘		野澤達
ジャッジ	金原祐衣	リザーブアンパイア	渡邊道彦

阿須・第4試合 男子 準々決勝

朝日大学	2	{ 0 - 1 } 2	2	明治大学
		延長戦		
		{ - } SO		
		6 - 5		

<得点>

朝日 36分・服部浩之、41分・、福山正太
 明治 24分・山本圭佑、69分・岡崎慶二

<戦評>

明治大学のセンターパスによりインカレベスト8をかけた試合が開始された。序盤戦は明治大学が攻勢にでる。分に朝日大学が退場者をだすと、数的優位を活かしPCを獲得するなど朝日ゴールに迫るが得点には至らない。スコアが動いたのは前半23分であった。#24山本がゴール前の混戦からリバースシュートで決め、明治大学が先制する。対する朝日大学も前半終了間際、ゴール前に打ち込んだボールに対して#15がタッチシュートを試みるもキーパーに阻まれ、1-0のまま前半は終了する。後半戦が始まると、朝日大学が反撃に転じる。後半36分、#10服部がタッチシュートを決め早々と1-1の同点に追いつく。そのまま朝日の勢いは止まらず、PCを立て続けに獲得、そのPCから後半41分、#1福山7が決めて2-1の逆転に成功する。この後は攻守が目まぐるしく入れ替わる拮抗した展開となる。試合はこのまま終了するかと思われたが明治大学はPCを土壇場で獲得、これを#2岡崎が劇的なゴールを決め、2-2の同点に追いつき勝負はPSO戦にもつれる。SO戦の末、朝日大学が勝利した。

TO	関根由美子	アンパイア	渡邊道彦
ジャッジ	寺田一夫		成田健一
ジャッジ	吉田彩香	リザーブアンパイア	松村満

駿河台・第1試合 女子 準々決勝

東海学院大学	0	{ 0 - 0 } 0 - 1	1	聖泉大学
		延長戦		
		{ - - }		
		SO		
		-		

<得点>
東海学院
聖泉 64分#20永野
<戦評>

昨日の雨もすっかり上がり少し肌寒い風が吹く中、駿河台大学ホッケー場にて女子準々決勝東海学院大学対聖泉大学の試合が聖泉大学のセンターパスにより開始された。序盤から東海学院大学が果敢にゴールを狙う。PCを4回とるが聖泉大学の固いディフェンスにより得点を挙げる事ができない。聖泉大学はカウンターでサークル手前まで攻めるものの得点にはならず。前半は終了した。後半開始直後、聖泉大学がPCを2回連続で獲得するが得点にはならず。41分に東海学院大学がPCを獲得する。強烈なヒットからのワンタッチを狙うが惜しくもゴールポストにはじかれてしまう。試合が動いたのは64分聖泉大学#20永野が強烈なヒットをゴールに打ち込み、キーパーの手をはじき得点を挙げた。このあと東海学院大学が果敢にゴールを狙い、PCも獲得したが得点に結びつかず。試合が終了する。0-1で聖泉大学が勝利した。

TO	鯨井 暢		木下英貴
ジャッジ	浅野 久雄	アンパイア	石橋 徹也
ジャッジ	押切 優香	リザーブアンパイア	成田 健一

駿河台・第2試合 女子 準々決勝

中京大学	0	{ 0 - 2 } 0 - 2	4	天理大学
		延長戦		
		{ - - }		
		SO		
		-		

<得点>
中京
天理 12分#11伊藤、17分#11伊藤、47分#11伊藤、70分#15辻井
<戦評>

前試合までの陽気な天候とはうってかわり雲に覆われ肌寒いなか、ベスト4及び全日本選手権出場をかけた中京大学対天理大学の戦は天理大学のセンターパスにより試合は開始された。虚をついた天理大学の速攻からシュートまで繋がるが惜しくもシュートは枠をとらえることができない。序盤から天理大学が素早いパスワークから中京大学ゴールに迫るが粘り強い守備によりゴールラインを割らせない。しかし前半12分#11伊藤がリバウンドをレバースで押し込み先制する。17分左LCから右に展開しそれを受けた#10牛尾がシュートし、ファーサイドにいた#11伊藤がうまく合わせ二点目を決める。前半終盤には中京大学はカウンターから何度かチャンスをつくる。GKと一対一が生まれるが、これは天理大学GK#1影山の好セーブに阻まれる。後半も天理大学が攻めるシーンが多くなる。47分またもや天理大学#11伊藤がゴール前でタッチシュートを決めハットトリックを達成する。その後の約10分間に渡る天理大学の猛攻は中京大学DFの覇気感じる踏ん張りにより防ぎ、一転中京大学の攻撃シーンが増える。しかし天理大学はペースを握り返し攻め返す。対する中京大学は最後まで懸命に守り諦めずゴールを目指すことはできない。70分天理大学はPCから#15辻井だめ押し点を決め0-4で天理大学が勝利した。

TO	柴田 稔		我妻 順子
ジャッジ	増田 和也	アンパイア	高野 光洋
ジャッジ	金子 智大	リザーブアンパイア	藤原 信幸

駿河台・第3試合 男子 準々決勝

関西大学	1	{	0	-	2	}	5	駿河台大学
			1		3			
			延長戦					
			{		-	}		
							SO	
							-	

<得点>

関西 54分#4高山
 駿河台 13分#2佐々木、17分#25伊藤、38分#25伊藤、61分#9引木、62分#3関谷

<戦評>

爽やかな秋空の下、駿河台大学のセンターパスにより試合が開始された。関西大学は、キャプテンの#10西尾を起点として攻撃を展開する。一方の駿河台大学は、強烈なストロークと個人技を武器に相手ゴールを脅かす。序盤から駿河台大学が攻めたてるも、GK#18江口率いる関西大学DF陣がゴールをしっかりと守る。試合が動いたのは、前半13分、駿河台大学がPCから#2佐々木が強烈なフリックをゴール右に突き刺し先制する。続く前半17分、ゴール前のこぼれ球を#25伊藤が押し込み追加点をあげる。その後は両者拮抗した試合展開のまま、0-2で前半が終了する。後半開始早々、駿河台大学が試合を動かす。38分、サークル内へのパスに#25伊藤が合わせゴールを決めて、スコアを0-3とする。一矢報いたい関西大学は、54分#4高山がゴール前でシュートを放ってゴールネットを揺らし、1-3と差を詰める。このまま流れに乗った関西大学は56分にPCのチャンスを獲得するが得点ならず。すると、再び流れは駿河台大学に傾く。61分、62分にもFG,PCから得点して差を広げる。結局1-5で駿河台大学が勝利し、ベスト4と同時に全日本への出場権を得た。

TO	鯨井 暢	アンパイア	LOI JIA JIN
ジャッジ	浅野 久雄		藤原 信幸
ジャッジ	押切 優香	リザーブアンパイア	石橋 徹也

駿河台・第4試合 男子 準々決勝

天理大学	4	{	1	-	0	}	1	大学
			3		1			
			延長戦					
			{		-	}		
							SO	
							-	

<得点>

天理大学 9分・膳棚大剛、53分・膳棚大剛、61分・山城嘉大、67分・黒川大地
 山梨学院大学 63分・福居陸希

<戦評>

暗くなり始めライトアップされた中、山梨学院大学のセンターパスにより男子準々決勝が開始された。開始早々山梨学院大学が素早いカウンターからドリブルでPCを獲得する。しかし得点には繋がらず、このまま山梨学院大学がペースを握るかと思われたが、前半7分天理大学がPCからペナルティストロークを獲得する。そのチャンスを#2膳棚が冷静に決め、1-0とする。勢いに乗り天理大学が攻め続けるが、山梨学院大学#30藤原のナイスセーブに阻まれ、リードを広げることは出来ない。山梨学院大学も負けじとチャンスメイクをするが点を取り返すには至らず、前半を折り返す。後半は両チーム共に譲らない激しい攻防が繰り広げられる。その均衡を破ったのは天理大学。後半18分PCを獲得すると、鋭いフリックがゴールに突き刺さり、追加点を挙げる。さらに後半26分には#15山城がヒットでゴールを決め、リードを広げる。対する山梨学院大学はその直後、後半28分にPCを奪い、#5福居がタッチシュートを流し込み3-1とする。そして後半32分、天理大学#10黒川が鮮やかにタッチシュートを決め、4-1とし天理大学が激戦を制した。

TO	柴田 稔	アンパイア	木下英貴
ジャッジ	増田和也		戸塚洋介
ジャッジ	金子智大	リザーブアンパイア	高野光洋